

造作家具 吊戸棚の不具合解消

金物の削れた粉やホコリ

などが原因で、
金物の滑りが悪くなり、
扉が上手く閉まらなくなることがあります。



〈NG〉



〈正常〉

扉の状態

扉同士の干渉ではなく、扉が浮いて閉まらない。



〈NG〉



〈正常〉

金物の状態

金具が噛み合う途中で止まってしまう。

作業手順



1. 扉側、金物の引っかかる部分を、2-3回、指でなでるように触ります。汚れが取れ、油が付着することで、滑りが良くなります。



2. 受け側も同様、金物の引っかかる部分を、指で2-3回なでるように触ります。タオルやティッシュでぬぐうのも効果的です。



3. ゆっくりと扉の開閉を行い、正常に扉が閉まることを確認し、完了です。

地震の揺れを感知し、
扉が開くのを防ぐ金物が
ついています。

吊戸棚の上部についている金物「耐震ラッチ」。地震の発生時に収納家具の扉をロックし、開放を防ぐもので、震度5弱以上で作動するよう設計されています。

地震が収まった後は自動解除の為、解除動作は不要。収納物が理由でロックが解除されない場合は、扉を押すように、キャビネット側に押し付けた後、ゆっくり扉を開いてください。
※周囲の安全が確認された後、収納物の落下に気を付けて行いましょう。



- ・扉の傾きやズレが原因で他の扉と干渉し、閉まらない・他の扉に当たることがあります。その場合は、蝶番の調整を行ってください。
- ・上記作業を行っても解消されない場合は、部品破損の可能性もございます。エコ建築考房までご連絡ください。
- ・地震への備えとして金物がついてはいますが、割れ物・重い物はなるべく下の方に収納するよう心がけましょう。